



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年4月28日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## シベリア抑留死亡者の名簿作りに心血を注いだ男の物語

28日(日)＝1、3面

今回は、シベリア抑留で死亡した約4万6300人分の名簿を完成させた村山常雄さん＝写真＝(2014年に88歳で死去)の人生に迫ります。村山さんは4年間のシベリア抑留を経験し、病気になって帰国。その後は中学校教員を定年まで勤めるなどして、70歳を機にシベリア抑留で死亡した仲間たちの名簿作りに着手します。

1991年、ソ連が日本政府に渡した名簿は、カタカナ表記で不正確なものだったからです。「これは死者への

冒とくだ」と憤りを覚え、漢字での正確な氏名の名簿を作らねばならないと考えました。シベリア帰りの人は自身の体験を手記で後世に残すケースが多い中、村山さんは未完で50ページほどの小説を残しただけでした。心血を注いだのは、手記ではなく名簿。毎日10時間、10年もかかりました。しかも持病の高血圧と戦いながら。彼はなぜそんな苦しい道を選んだのか――。

執筆は、開高健ノンフィクション賞を受賞した青島顕記者です。



迫る



## 「宿泊税」の効果と課題は

28日(日)＝総合面

ホテルや旅館の利用客から徴収する「宿泊税」。九つの都府県と市町が導入し、ほかに導入を検討する自治体も増えています。近年、外国人を中心に観光客が増加しており＝写真、

その負荷が社会問題化した「観光公害」を解決しようとする狙いや、さらに観光客を呼び込むための資金を確保する思惑があります。期待される効果や課題を調べました。



東京・浅草の仲見世通りを歩く訪日外国人ら＝2024年4月17日

特集 **ワイド**

## ～N響の顔「まろ」が語る～クラシック音楽の神髄

5月2日(木)＝夕刊2面



長年にわたりNHK交響楽団のコンサートマスターを務めてきたバイオリニストの篠崎史紀さん＝写真＝が、初めての絵本「おんがくはまほう」を刊行しました。「音楽は人類最強のコミュニ

ケーションツール」を信条としている篠崎さんが、絵本に込めた思いや「まろ」という不思議な愛称で親しまれているわけ、クラシック音楽がもたらしてくれた出会いについて、たっぷり語ります。

## 論点 インバウンド価格

5月1日(水)＝オピニオン面

歴史的な円安を背景に、海外から日本を訪れる旅行者(インバウンダー)が過去最高となり、そうした客向けのサービスが各地で過熱している。背景に、海外から日本を訪れる旅行者(インバウンダー)が過去最高となり、そうした客向けのサービスが各地で過熱している。

国内に浸透するの可能性があるか。可能性と課題について、専門家や市場関係者たちの考えを聞きまし

## 竹橋の窓辺から

編集後記



人生100年時代を迎えたいま、本当の意味での「自分らしい生き方」とはどのようなものでしょう。毎日新聞社とホスピス財団は5月12日、人生の最終盤を見つめてきた医師ら、経験豊富な専門職が登壇するイベントを昭和女子大(東京都世田谷区)で開催します(オンライン参加も可)。「自分らしい死」を学ぶことで、よりよい生き方を考えてみませんか。(木村葉子)



毎日新聞